

日本歯科医学教育学会共催シンポジウム | 特別講演

超高齢社会に対応できる臨床能力の養成プログラムを考える - ICTを活用した共通の準備教育と多様な臨床実習の実施

座長:宮崎 隆(昭和大学歯学部歯科理工学部門)

Fri. Jun 22, 2018 3:50 PM - 5:00 PM 第3会場 (6F 大会議室)

共催: 日本歯科医学教育学会

【略歴】

1978年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1984年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了・歯学博士

1984年 昭和大学歯学部講師 (歯科理工学講座)

1991年 昭和大学歯学部教授

2003年 昭和大学歯学部長

2016年 昭和大学副学長

一般社団法人 日本歯学系学会協議会 理事長

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 常務理事

【抄録】

学生が臨床実習の中で実際に経験できる症例を均一化するのは難しく、経験しても知識が不足しているために未消化になる場合も少なくないと考えます。超高齢社会に対応できる臨床能力を養成するために臨床実習の充実を図ることを目的として、3大学と関連歯科医師会で開発した共通のICT教材を用いて、超高齢社会で必要となる知識を臨床実習前に修得する学修プログラムを実施しています。

本シンポジウムでは、共通のICT教材を活用した準備学修教材の概要と、地域の異なる大学で実施した臨床実習で得られた成果について3大学の演者が報告します。この取り組みを全国の多くの大学に広げ、超高齢社会のさまざまな地域医療をテーマとしたICT教材を作成し、活用することにより、各大学が超高齢社会に対応するための充実した臨床実習を実施できると考えます。このICTを活用した教育プロジェクトについて、参加者も含めてディスカッションを行いたいと思います。

[S4-2]超高齢社会に対応できる臨床能力の養成プログラムを考える

○佐藤 健一¹ (1. 岩手医科大学歯学部口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野)

【略歴】

1988年 岩手医科大学歯学部卒業

1994年 岩手医科大学歯学部助手 (歯科麻酔学講座)

2000年 岩手医科大学歯学部講師

2015年 岩手医科大学歯学部准教授

2016年 岩手医科大学歯学部教授

日本歯科麻酔学会認定医・専門医

日本歯科麻酔学会評議員

日本口腔科学会評議員

岩手医科大学歯学部では、さまざまな体験を通じてチーム医療とその意義を理解することを目的に学外連携教育プログラムを行っております。第3学年と第4学年では必修科目として、3大学共通のICT教材を用いた講義、実習を行っています。第5学年では盛岡市近郊での介護体験実習、岩手県内の国保診療所、秋田県内の中核病院歯科での地域医療体験実習を行ってきました。超高齢社会を迎えた両県でのこれらの体験実習はまさにICT教材の内容を包括するものであり、その活用は地域医療体験実習の充実に有用であると考えます。学生たちは、介護体験実習・地域医療体験実習を通じて多職種連携による高齢者歯科治療の重要性について改めて学ぶことができました。ICT教材を活用することによって、超高齢社会に対応できる歯科医師として高い臨床能力を養成する臨床実習

を実施できると考えます。3大学共通のICT教材を活用した教育プロジェクトのこれまでの成果についてお話しします。